

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和 7 年 3 月 28 日

児童発達支援センタースイスイなかも (保育所等訪問支援)

利用児童数 令和7年1月6日～令和7年1月15日 訪問先: 4 回収数: 4 回収率: 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の様子を詳しく観察されていて、良さや頑張っていることに気づくことができた。 ・ 該当児童の授業中の様子を細かく観察されておられ、具象的な助言をいただくことができました。 ・ 取り入れられるものとはできないものがあった。 	<p>集団生活の場で対象児童がどのようなことに困っているか、どうすれば困らなくて済むか観察して支援をさせていただいており、集団の場ですので、個別での対応が難しい場合があることも承知しております。集団生活の場で可能な範囲での「ご提案」をさせていただきたいと考えております。</p>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・ 困りごとにどう対応すればいいか具体的なアドバイスをいただくことができた。 ・ 整理整頓に課題があり、具体的な支援について教えていただくことができました。 ・ とても詳しくご承知で、個別に関わる場合の支援のあり方が理解できた。 	<p>今後もご満足いただける支援ができるよう努めて参ります。</p>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に対して適切なアドバイスをもらうことができた。 ・ 療育中の様子や児童のこれまでの発達の様子について伺い、実態を把握することができました。 ・ 可能ならば、対話型での受け答えができるとうれしい。 	<p>観察中は難しい場合もあるかと思いますが、観察終了後のカンファレンス等でもやり取りさせていただく場を設定しております。</p>
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の行動がすぐ改善することはないが、対応する側の意識や支援の在り方がわかった。 ・ 該当児童の困り感について話げできたことで、今後の支援について見直しを持つことができました。 ・ 課題や困りごとは、一日だけの限られた観察だけでは、解消や軽減が難しいと感じた。 	<p>切れ目なく継続した関わり方を続けることが大切なので、一回の訪問（ご利用）では「困りごとが解消された」「軽減された」と感じていただくことは難しいかもしれません。</p>
5	事業所からの支援に満足していますか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ 午前中しっかり観察や面談で意見交換ができてよかった。 ・ 家庭、療育のそれぞれの場での児童の様子について伺ったことで、情報交換や共通理解ができました。 ・ 集団を指導する視点からの支援のあり方も教えていただくとありがたい。 	<p>全ての方に満足していただけるよう、日々努力して参ります。</p>
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団の場面での本児の望ましい行動などのアドバイスもいただけるため、意識して保育ができるのでとても助かります。また、本児がスイスイなかもさんに通所されるようになってからメキメキ成長を感じているところです。今後ともよろしくお祈りします。 ・ 今回は、午前中に特別支援学級と交流学級での児童の様子と担任の支援、授業について観察していただいたが、時間的に長いと感じた。保護者に説明していただいて、児童の成長を感じられ喜ばれていた。 ・ 今後も支援をお願いしたい。 ・ 授業に関する助言をいただく場面が長時間となったので、事前の打ち合わせが必要だと感じた。 ・ 授業者の意図もあるので、指導技術の工夫に関しては別の機会に伝えていただきたい。 ・ 個人の支援は大切だが、集団指導を基本に進める通常学級ではできる支援とあえてとらない支援がある。学年で授業をする際は特にその部分が大きくなる。今後は一担任だけでなく、学年部としてグループ面談もしていただきたい。 					<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察、観察終了後のカンファレンス共に時間の調整、見直しを行って参ります。 ・ 今後も、集団生活の場で児童がどのようなことに困っているのか、どうすれば困らなくて済むかを観察して支援をさせていただきたいと考えております。 	